

令和 8 年度

マンホール蓋交換工事（R 8 浮上飛散防止対策）

工 事 設 計 書

袖ヶ浦市福王台4丁目地先

下水道課

総括表

下水道課				工事番号		下建工-02		提出年月日			
				部長		次長		課長		副課長	
								設計主任		浄書校合	
年度科目	令和 8 年度 公共下水道事業会計		第 04 款 資本的支出		第 01 項 建設改良費		第 01 目 管渠費		第 15 節 工事請負費		第 0010 細節 工事請負費
路線河川名											
工事名		マンホール蓋交換工事（R 8 浮上飛散防止対策）									
工事場所		袖ヶ浦市福王台4丁目地先						工事施行方法		請 負	
								工事期間		令和9年1月12日迄	
工事費総額			円								
工事価格			円								
消費税相当額			円								

設 計 説 明	工事目的 本工事は、袖ヶ浦市下水道ストックマネジメント計画に基づき、マンホール蓋の浮上飛散を防止するため、老朽化したマンホール蓋の交換（角蓋→丸蓋）を行うものである。 工事概要 下水道マンホール蓋交換（T-14） 5箇所 付帯工 1式
----------------------------	---

設計基本情報

設計情報

設計書番号	183800017
設計種別	当初設計
工事番号	下建工-02
工事名	マンホール蓋交換工事（R 8 浮上飛散防止対策）
路線河川名	

諸経費情報

単価世代	2026年 7月 1日
本工事区分	50-01;下水道一管路
附帯工事区分	
諸経費の工種	下水道工事(2)
施工地域補正	共通仮設費：市街地(DID補正)(1)-3 現場管理費：市街地(DID補正)(1)-3
前払金支出割合	40%
契約保証費	0.04% 金銭的保証
処分費控除	なし
週休2日補正	なし

本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費		式	1			
管路		式	1			
マンホール工		式	1			
組立マンホール工		式	1			
蓋(受枠とも)撤去・据え付け工	径600mm T-14 薄型	組	5			第 1 号内訳書参照
構造物とりこわし運搬・処分		m3	0.1			第 2 号内訳書参照
現場発生材運搬	鉄スクラップ	回	1			第 3 号内訳書参照
付帯工		式	1			
舗装撤去工		式	1			
舗装版切断	アスファルト舗装版	m	20			第 4 号内訳書参照
排水処理	舗装版切断時発生排水	式	1			第 5 号内訳書参照

本 工 事 内 訳 書

付 属 1

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 :4～15cm	m2	18			第 6 号内訳書参照
殻運搬処分	舗装版破碎	m3	1			第 7 号内訳書参照
掘削工		式	1			
掘削	路盤	m3	0.2			第 8 号内訳書参照
人力積込	路盤	m3	0.2			第 9 号内訳書参照
土砂等運搬処分	路盤	m3	0.2			第 10 号内訳書参照
舗装復旧工		式	1			
路盤(歩道一般部)	再生クラッシャー RC-40 仕上 り厚:70mm	m2	2			第 11 号内訳書参照
路盤(歩道切下げ部)	再生クラッシャー RM-40 仕上 り厚:10mm	m2	0.5			第 12 号内訳書参照
基層(歩道切下げ部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 :50mm 1.4m未満 (1層当り平 均仕上り厚50mm以下)	m2	5			第 13 号内訳書参照
中間層(歩道切下げ部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 :50mm 1.4m未満 (1層当り平 均仕上り厚50mm以下)	m2	4			第 14 号内訳書参照

本 工 事 内 訳 書

付 属 2

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(歩道一般部)	再生細粒度アスコン(13) 舗装厚:40mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	13			第 15 号内訳書参照
表層(歩道切下げ部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚:50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	5			第 16 号内訳書参照
直接工事費計		式	1			
共通仮設		式	1			
共通仮設費(積上分)		式	1			
安全費		式	1			
交通誘導警備員		式	1			第 17 号内訳書参照
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
純工事費計		式	1			

本 工 事 内 訳 書

付 属 3

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場管理費		式	1			
工事原価		式	1			
一般管理費等		式	1			
各種費用		式	1			
スクラップ控除		式	1			
スクラップ		式	1			
スクラップ		式	1			第 18 号内訳書参照
工事価格		式	1			
消費税及び地方消費税相当額		式	1			
工事費計		式	1			

第 1 号 内訳書

蓋(受枠とも)撤去・据え付け工

径600mm T-14 薄型

1 組 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋(受枠とも)据付工		組	1			第 1 号単価表参照
蓋(受枠とも)撤去工		組	1			第 2 号単価表参照
マンホール鉄蓋 (浮上・飛散防止型)	径600mm T-14 [※] デザイン タ クタイル [※] 铸铁製	組	1			
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ 6 0 0 m m ロック付き	個	1			
無収縮モルタル	25kg	袋	0.6			
アンカー削孔		本	3			第 3 号単価表参照
アンカー	M16 160mm ステンレス	本	3			
ステンレスナット	M16	個	3			
ステンレス座金	M16	枚	3			
調整金具	調整高25mmまで	組	1			
ボルトスリーブ	M16 3本入り	セッ ト	1			

第 1 号 内訳書

蓋(受枠とも)撤去・据え付け工

径600mm T-14 薄型

1 組 当り

付属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計	1 組 当り					

第 2 号 内訳書

構造物とりこわし運搬・処分

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし・運搬・処分	(複合)	m3	1			第 4 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 3 号 内訳書

現場発生材運搬

鉄スクラップ

1 回 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生材運搬		t	0.32			第 5 号単価表参照
計	1 回 当り					

第 4 号 内訳書

舗装版切断

アスファルト舗装版

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断費 舗装版切断		m	1			第 6 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 5 号 内訳書

排水処理

舗装版切断時発生排水

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水処理費	20Lポリ缶持込	本	2			$0.0017\text{m}^3/\text{m} \times 20.0 = 0.034\text{m}^3 = 34.0\text{L}$
ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動]	乗車定員5名 排気量1.5L	時間				第 7 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 6 号 内訳書

舗装版破碎

アスファルト舗装版 舗装版厚:4~15cm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
破碎費 舗装版破碎		m2	1			第 8 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 7 号 内訳書

殻運搬処分

舗装版破碎

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬費 殻運搬		m3	1			第 9 号単価表参照
A S 廃材処分費	君津	t	2.18			
計	1 m3 当り					

第 8 号 内訳書

掘削

路盤

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削費 掘削		m3	1			第 10 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 9 号 内訳書

人力積込

路盤

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
人力積込費 人力積込		m3	1			第 11 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 10 号 内訳書

土砂等運搬処分

路盤

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬費 ダンプトラック運搬		m3	1			第 12 号単価表参照
路盤廃材処分費	君津	t	2.05			
計	1 m3 当り					

第 11 号 内訳書

路盤(歩道一般部)

再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚:70mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤材敷均し・締固め費 路盤 (歩道部)		m2	1			第 13 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 12 号 内訳書

路盤(歩道切下げ部)

再生クラッシュラン RM-40 仕上り厚:10mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤 (歩道部)		m2	1			第 14 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 13 号 内訳書

基層(歩道切下げ部)

再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚:50mm

1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
施工費 基層 (歩道部)		m2	1			第 15 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 14 号 内訳書

中間層(歩道切下げ部)

再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚:50mm

1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
施工費 中間層 (歩道部)		m2	1			第 16 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 15 号 内訳書

表層(歩道一般部)

再生細粒度アスコン(13) 舗装厚:40mm

1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
施工費 表層 (歩道部)		m2	1			第 17 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 16 号 内訳書

表層(歩道切下げ部)

再生密粒度アスコン(13) 舗装厚:50mm

1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
施工費 表層 (歩道部)		m2	1			第 18 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 17 号 内訳書

交通誘導警備員

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員費 交通誘導警備員 A		人日	1			第 19 号単価表参照
交通誘導警備員費 交通誘導警備員 B		人日	3			第 20 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 18 号 内訳書

スクラップ

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクラップ	へビー H 1	t	-0.32			
計	1 式 当り					

第 1 号 単価表

蓋(受枠とも)据付工

1 組 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4. 9 t 吊	日				
諸雑費		式				
計	1 組 当り					

SDGD10810

J01 作業区分 = 2

調整コンクリートブロックを使用しない

J02 トラッククレーン賃料補正 = 1

標準 (1.0)

第 2 号 単価表

蓋(受枠とも)撤去工

1 組 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4. 9 t 吊	日				
諸雑費		式				
計	1 組 当り					

SDGD10810

J01 作業区分 = 2

調整コンクリートブロックを使用しない

J02 トラッククレーン賃料補正 = 1

標準 (1.0)

第 3 号 単価表

アンカー削孔

1 本 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
	1 本 当り					

SCB435940

J01 適用アンカー材径 = 125mm以下

J02 削孔方向 = 2下方向

第 4 号 単価表

構造物とりこわし・運搬・処分

(複合)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		m3	1			第 21 号単価表参照
無筋C o 処分費	君津	t	2.35			
殻運搬		m3	1			第 22 号単価表参照
計	1 m3 当り					

SWB824020

J01 構造物区分 = 1
 J03 夜間作業の有無 = 1
 J05 DID区間の有無 = 2

無筋構造物
 無し
 有り

J02 時間的制約の有無 = 1
 J04 低騒音・低振動対策 = 1
 J06 運搬距離 (km) = 2

無し
 必要
 3.3以下

第 5 号 単価表

現場発生材運搬

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2. 9 t	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 t 当り					

SCB010410
J01 トラック機種 = 1
J04 片道運搬距離 (km) DID有 = 3

クレーン装置付2t積、吊能力2.9t
5.0km以下

J02 DID区間の有無 = 2 有り

第 6 号 単価表

舗装版切断

1 m 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレート径 φ 56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径 1 8 インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 6 号

単価表

舗装版切断

1 m 当り

付属 1

SCB430510				
J01	舗装版種別 = 1	アスファルト舗装版	J02	アスファルト舗装版厚 = 1
J05	費用の内訳 = 1	全ての費用		15cm以下

第 7 号 単価表

ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
ガソリン	レギュラー	L				
ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動]	乗車定員 5 名 排気量 1. 5 L	時間				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 時間 当り					

SK2022001

J01 機械使用条件コード = 0

J03 機械損耗部品補正 = 2

J05 交替制による割増し = 1

J07 基礎価格補正 = 1

J09 運転日当り運転時間[時間] = 8

良好

交替制を適用しない

しない

J02 岩石割増しコード = 1

J04 供用日当り運転時間[時間] = 8

J06 異常補正 = 0

J08 輸送補正 = 1

岩石工の割増対象にしない

しない

第 8 号 単価表

舗装版破碎

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリート圧砕装置（大割機）	開口幅735～850mm破碎力550～980kN	%	K1			
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕	山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

第 8 号

単価表

舗装版破碎

1

m2

当り

付属

1

SCB430310			
J01	舗装版種別 = 1	アスファルト舗装版	J02 障害等の有無 = 1
J03	騒音振動対策 = 2	必要	J04 舗装版厚 = 3
J06	積込作業の有無 = 1	有り	J07 費用の内訳 = 1
			無し
			15cm以下
			全ての費用

第 9 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3
J03 DID区間の有無 = 2
J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 3
J08 運搬距離 (km) (DID区間有) = 3 3.5km以下

機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)

第 10 号 単価表 掘削 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
	1 m3 当り					

SCB210100
J01 土質 = 1

土砂

J02 施工方法 = 4

現場制約あり

第 11 号 単価表

人力積込

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
	1 m3 当り					

SCB210830
J01 土質等区分 = 1 土砂

第 12 号 単価表

ダンプトラック運搬

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転		日				第 23 号単価表参照
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SWB440210

J01 DID区間の有無 = 2

有

J03 運搬距離 = 3

4.0km以下

J04 タイヤ損耗費 = 2

良好

第 13 号 単価表

路盤（歩道部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型（第3次） 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コン パインド式〕	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z1			

第 13 号 単価表

路盤（歩道部）

1 m2 当り

附属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 70

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 14 号 単価表

路盤（歩道部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コン パインド式〕	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生粒度調整碎石	RM-40	%	Z1			

第 14 号 単価表

路盤（歩道部）

1 m2 当り

附属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 10

J03 材料 = 7

路盤材（各種）

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 15 号 単価表

基層（歩道部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量 0.5 ～ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量 40 ～ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン（20）	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	%	Z2			

第 15 号 単価表

基層（歩道部）

1 m2 当り

付属 1

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410241

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 12

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生粗粒度アスコン（20）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 16 号 単価表

中間層（歩道部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量 0.5 ～ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量 40 ～ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン（20）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	%	Z2			

第 16 号 単価表

中間層（歩道部）

1 m2 当り

付属 1

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410251

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 12

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生粗粒度アスコン（20）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 1

タックコート PK-4

第 17 号 単価表

表層（歩道部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量 0.5 ～ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量 40 ～ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生細粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	%	Z2			

第 17 号 単価表

表層 (歩道部)

1 m2 当り

付属 1

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410261

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 18

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満 (仕上厚50mm以下)

再生細粒度アスコン (1 3)

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 40

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 18 号 単価表

表層（歩道部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量 0.5 ～ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量 40 ～ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	%	Z2			

第 18 号 単価表

表層 (歩道部)

1 m2 当り

付属 1

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410261

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満 (仕上厚50mm以下)

再生密粒度アスコン (1 3)

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 1

タックコート PK-4

第 19 号 単価表

交通誘導警備員 A

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 A		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010211

第 20 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 21 号 単価表

構造物とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	昼間 機械施工 制約無	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 1 無筋構造物
 J03 時間的制約の有無 = 1 無し
 J05 低騒音・低振動対策 = 1 必要

J02 工法区分 = 1 機械施工
 J04 夜間作業の有無 = 1 無し

第 22 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 1
J03 DID区間の有無 = 2
J13 費用の内訳 = 1
コンクリート(無筋)構造物とりこわし
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 1
J04 運搬距離 (km) (DID区間有無) = 2 3.3km以下
機械積込

第 23 号 単価表

ダンプトラック運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	1 0 t 積級	供用日				
タイヤ損耗費	1 0 t 積級 良好 供用日	供用日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK440050

J01 タイヤ損耗費 = 2

良好

土工一覧表（矩形）

工事No.	1 (切下げ部) W=4～8m未満	2 (一般部)	3 (切下げ部) W=8m以上	4 (一般部)	5 (一般部)					合計	備考
マンホールNo.	387-7	389-1	389-2	389-3	389-4						
○or□（工事内容）	□→○	□→○	□→○	□→○	□→○						
	交換	交換	交換	交換	交換						
路盤掘削積込運搬（人力）	0.02	0.05		0.05	0.05					0.17	単位：㎡ 掘削面1`2-角蓋0.575`2 * 既設人孔高さ-舗装高さ

舗装復旧一覧表

工事No.	1 (切下げ部) W=4～8m未満	2 (一般部)	3 (切下げ部) W=8m以上	4 (一般部)	5 (一般部)					合計	備考
舗装版切断工	3.40	3.60	3.90	4.60	4.50					20.00	単位：m
歩道延長	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						単位：m
舗装版取壊し（人力）	3.07	3.27	3.57	4.27	4.17					18.35	単位：㎡ 歩道幅員*歩道延長-角蓋：0.575`2
A s 塊運搬処分	0.24	0.13	0.54	0.17	0.17					1.25	単位：㎡
路盤工（RC-40） t =70mm	0.20	0.67		0.67	0.67					2.21	単位：㎡ 掘削面1`2-角蓋0.575`2
路盤工（RM-40） t =10mm	0.47									0.47	単位：㎡ 掘削面1`2-角蓋0.575`2
基層工（本復旧） t =50mm	1.88		3.57							5.45	単位：㎡ 切下げ部
中間層工（本復旧） t =50mm			3.57							3.57	単位：㎡ 切下げ部
表層工（本復旧） t =40mm	1.19	3.27		4.27	4.17					12.90	単位：㎡ 一般部
表層工（本復旧） t =50mm	1.88		3.57							5.45	単位：㎡ 切下げ部

既設人孔組立構造一覧表（斜壁上）

単位（m）

工事No.	1 (切下げ部) W=4～8m未満	2 (一般部)	3 (切下げ部) W=8m以上	4 (一般部)	5 (一般部)						備考
鉄蓋	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06						
調整CO	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
計	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11						

計画人孔組立構造一覧表

単位（m）

工事No.	1 (切下げ部) W=4～8m未満	2 (一般部)	3 (切下げ部) W=8m以上	4 (一般部)	5 (一般部)					合計	備考
鉄蓋(T-14)	1	1	1	1	1					5	単位：組
転落防止機能付梯子	1	1	1	1	1					5	単位：個
鉄蓋	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08						
調整モルタル	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03						
調整リング（10cm）										0	単位：個
調整リング（15cm）										0	単位：個
組立高さ	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11						

調整CO使用量一覧表

	1 (切下げ部) W=4～8m未満	2 (一般部)	3 (切下げ部) W=8m以上	4 (一般部)	5 (一般部)					合計	備考
調整CO量（㎡）	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007					0.04	
調整CO量（kg）	15	15	15	15	15					75	75kg÷25kg/袋≒3袋

既設人孔CO撤去量一覧表

	1 (切下げ部) W=4～8m未満	2 (一般部)	3 (切下げ部) W=8m以上	4 (一般部)	5 (一般部)					合計	備考
鉄蓋撤去	1	1	1	1	1					5	角蓋：64kg/枚×5＝320kg 丸蓋：94kg/枚×0＝0kg 合計：320kg
調整CO撤去	0.012	0.012	0.012	0.012	0.012					0.06	単位：㎡

特記仕様書

1. 工 事 名：マンホール蓋交換工事（R 8 浮上飛散防止対策）
2. 路 線 名：国道 16 号（歩道）
3. 工事場所：袖ヶ浦市福王台 4 丁目地先
4. 事業年度：令和 8 年度

第 1 編 共 通 編

第 1 章 総 則

第 1 節 総 則

第 1 条 適用

- 1 本工事は、千葉県土木工事共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）により、それによらない場合は、この特記仕様書を適用する。

第 2 条 現場代理人および主任技術者または監理技術者

- 1 受注者は、工事に先立ち仕様書の規定によるところの工事に熟練した専任の現場代理人および主任技術者、監督技術補佐または監理技術者（下請契約の請負金額総計が 4,500 万円以上の場合）を定め、主任技術者等選定通知書を提出し承認を得ること。
- 2 現場代理人は、工事現場に常駐し、現場の取り締まりおよび工事に関する一切の事項を把握し、監督職員の指示、連絡に支障の無いようにしなければならない。

第 3 条 工事カルテの作成、登録

- 1 受注者は、受注時又は変更時において、工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成時に工事实績情報として「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は、工事完成後 10 日以内に登録機関に登録申請をしなければならない。
- 2 変更時と完成時の間が 10 日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
- 3 受注者は、工事受注後、又は施工中において、当該工事に係る悪質な不正行為（一括下請負等）が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うもの

とする。

第4条 施工体制台帳

- 1 受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

第5条 施工体制の点検

- 1 受注者は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年法律第127号）第15条第3項により、発注者から施工体制について、点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該工事の監督職員、現場技術員及び事務所の職員とし、身分証明書を携帯し、胸に所属、役職、氏名、顔写真の入った名札を着用するものとする。

第6条 公共事業労務費調査に対する協力について

- 1 本工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力を行わなければならない。
- 2 調査票等を提出した事業所を発注者が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受注者になった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。
- 3 公共事業労務費調査の対象となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。
- 4 受注者が、本工事の一部について、下請契約を締結する場合には、元請負者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が第3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

第7条 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書

- 1 工事を実施するに当たっては、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を施工計画書に含め、提出するとともに関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）事務局に送付するものとする。また、計画書の実施状況については、工事完成後すみやかに発注者及び連絡協議会事務局まで提出及び送付するものとする。

なお、この場合「再生資源の利用の促進に関する法律」第10条関係省令第8条第1項及び同法第18条関係省令第7条第1項に定める規模以上の場合のみとする。

また、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の様式については、監督職員の指示によるものとする。

第8条 建設副産物実態調査

- 1 「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、

施工計画書に含め各 1 部提出すること。

また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各 1 部提出するとともに、これらの記録を工事完成後 5 年間保存しておくこと。

なお、受注者は再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。

第 9 条 公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）について

- 1 受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規格	備考
再生加熱アスファルト混合物	再生細粒度 As13 mm	表層
再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度 As13 mm	表層
再生加熱アスファルト混合物	再生粗粒度 As20 mm	基層、中間層
路盤材	再生クラッシャーラン（RC-40）	下層路盤
路盤材	再生粒度調整碎石（RM-40）	下層路盤

なお、使用に際し「プラント再生舗装技術指針」等を遵守するものとする。

第 10 条 材料の立会調査

- 1 現場練コンクリートは、監督職員立会のうえ、調査しなければならない。

第 11 条 段階確認

- 1 受注者は、各工種の施工段階において、段階確認を受けなければならない。この際、受注者は、種別、細別、確認の予定時期を監督職員に書面により報告しなければならない。
ただし、段階確認の実施時期及び実施箇所は監督職員が定めるものとする。

第 12 条 施工管理

- 1 本工事の施工管理は、千葉県土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。
- 2 工事写真管理は、千葉県土木工事施工管理基準に記載する写真管理基準による。

第 13 条 工事中の安全確保

- 1 工事の施工にあたっては、「道路工事保安施設設置基準」に基づき、適切な交通管理を行うものとする。ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議するものとする。
- 2 工事実施期間中は、公道の出入口等に誘導員を配置させ、安全確保に努めなければならない。
- 3 工事の施工に際し、地下埋設物件等が予想される場合は、その管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置、深さ等を確認し、保安対策について、十分打合せを行い、事故の発生を防止しなければならない。
- 4 受注者の責により地下埋設物件等に損害を与えた場合は、速やかに監督職員に報告すると

もに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。

- 5 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督職員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。
- 6 下水道人孔等内作業を行う場合においては、酸素欠乏症等防止規則（昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 42 号）や「下水道維持管理指針 総論編マネジメント編」（平成 26 年 9 月（公社）日本下水道協会）第 3 章第 5 節「ポンプ場及び処理場施設の労働安全衛生対策」に基づき、酸素欠乏症等の対策に関して適切な措置を講じること。
- 7 下水道人孔等内作業においては、硫化水素濃度を 10ppm 以下に保つように十分な能力を有する換気設備を用いるとともに、有効な方法で継続して換気を行い、作業者の安全確保に努めること。

第 14 条 工事中の安全確保

- 1 工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上する。なお、当該路線は、交通誘導警備業務に係る一級または二級の検定合格警備員を 1 日 1 人以上配置することとする。ただし、交通管理者との協議条件など、社会的要件、現地精査に元づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工種	作業区分	交通誘導員	備考
管きょ工（開削）	昼間作業	4 人（うち有資格誘導員 1 人）	交替要員あり

第 15 条 工事現場管理

- 1 受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。
 - （1）積載重量制限を越えて、土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
 - （2）さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
 - （3）過積載車輛、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
 - （4）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、またはさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
 - （5）建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
 - （6）以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第 16 条 建設機械の使用

- 1 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 3 年 10 月 8 日付建設省経機発第 249 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設

機械を使用するものとする。

ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ・トラクタショベル（車輪式）・ブルドーザ・発動発電機（可搬式）・空気圧縮機（可搬式）・油圧ユニット（以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの；油圧ハンマ、パイプハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力 7.5 k w 以上 260 k w 以下）を搭載した建設機械に限る。

- 2 騒音規制法（昭和 4 3 年法律第 9 8 号）又は袖ヶ浦市環境条例（平成 1 1 年条例第 2 1 号）に定める特定建設作業を行う場合には、7 日前までに届出を行うこと。

第 17 条 工事現場のイメージアップ

- 1 工事現場のイメージアップは、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ、そこで働く関係者の意識を高めるとともに関係者の作業環境を整えることにより、公共事業の円滑な執行に資することを目的とするものである。よって、受注者は施工に際し、この趣旨を理解し、発注者と協力しつつ、地域との連携を図り、適正に工事を実施するものとする。
- 2 イメージアップについては具体的な内容、実施時期について、施工計画書に含め提出するものとする。
- 3 工事完了時には、イメージアップの実施写真を提出するものとする。
- 4 工期設定に際しては、イメージアップの準備に必要な期間を考慮するものとする。

第 18 条 安全・訓練等の実施

- 1 本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により月当り半日以上時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。
 - （1）安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
 - （2）本工事内容等の周知徹底
 - （3）土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
 - （4）本工事における災害対策訓練
 - （5）本工事現場で予想される事故対策
 - （6）その他、安全・訓練等として必要な事項

第 19 条 安全・訓練等に関する施工計画の作成

- 1 施工に先立ち、作成する施工計画書に本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。

第 20 条 安全・訓練等の実施状況報告

- 1 安全・訓練等の実施状況を報告するものとする。

第 21 条 工期

- 1 工期は、雨天、休日等を含み、契約の翌日から令和 9 年 1 月 12 日迄とする。なお、休日には日曜日、祝日、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

第 22 条 工事支障物件

- 1 本工事に関連する占用物件の撤去、移設、防護及び復旧工事については、各占用物件の管理者（企業）が処理するものとする。
また、工事施工にあたっては、各占用物件の管理者及び監督職員と十分工程の調整を行い、慎重に施工するものとする。

第 23 条 建設廃棄物等

- 1 本工事にて発生するアスファルト塊、コンクリート塊、路盤廃材については、片道運搬距離 2.8km 以上の「神納 1802-1 (有)渡辺産業」、「南袖 28-1 袖ヶ浦アスコン(株)」、「神納 2302-1 広域環境開発(株)」のいずれかに運搬処理し、舗装切断時に発生する排水汚泥については、片道運搬距離 2.5km の「袖ヶ浦市南袖 23-8 (株)ダイセキ」へ運搬処理し、鉄くずについては、片道運搬距離 4.4km の「木更津市高柳 843-1 大池鋼業(株)」に運搬処理するものとする。
なお、運搬に先立ち、受け入れ条件等を確認し、監督員に報告するものとする。また、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。

第 24 条 設計変更等

- 1 設計変更等については、契約書第 19 条から第 26 条及び土木工事共通仕様書共通編 1-1-1-14 から 1-1-1-16 に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事請負契約における設計変更等ガイドライン（総合版）令和 3 年 1 月（千葉県県土整備部）」を準用することとする。

第 25 条 工事完成図書の納品方法

- 1 本工事に係る完成図書の納品方法は原則電子納品（発注者指定型）とし、「袖ヶ浦市建設工事電子納品運用ガイドライン」に基づき納品すること。ただし、電子納品が困難な場合は、初

回打合せ時に発注者と協議すること。

第2章 材 料

第1節 材料の品質及び検査確認等

第1条 材料の確認

- 1 材料の使用にあたっては、その外観及び品質証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、確認を受けなければならない。

第2条 J I S 製品記号

- 1 設計図書中の J I S 製品記号は、J I S の国際単位系（S I）移行（以下、「新 J I S」という。）に伴い、すべて新 J I S の製品記号に読みかえるものとする。ただし、旧 J I S に対応した材料を使用する場合は、読みかえずに使用出来るものとする。

リサイクル計画書（積算段階）

工事担当者が作成し、設計書に添付

1. 事業（工事）概要

発注機関名	袖ヶ浦市	工事名	マンホール蓋交換工事（R 8 浮上飛散防止対策）
施工場所	袖ヶ浦市福王台4丁目地先	工期（予定）	契約の翌日から令和9年1月12日迄
工事概要等	下水道マンホール蓋交換（T-14）5箇所、付帯工 1式		

2. 建設資材利用計画

建設資材	① 利用量	② 現場内利用量	③ 再生材利用量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備考
土 砂	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
砕 石	0.3 トン	0 トン	0.3 トン	0 トン	100 %	粒調砕石2.1 t / m3 クラッシャーラン2.04 t / m3
アスファルト混合物	2.7 トン	0 トン	2.7 トン	0 トン	100 %	細粒度As2.15 t / m3 密粒度As、粗粒度As2.20 t /
	トン	トン	トン	トン	%	

※ アスファルト混合物の欄には、車道排水性及び歩道透水性舗装用アスファルト混合物の利用量は含めないものとする。

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発生量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤードへの搬出量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥) × 100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩) / ⑥ × 100	備考
建設発生土	第1種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第2種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第3種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第4種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	泥土（浚渫土）	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	計	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	%	
アスファルト・コンクリート塊	2.7 トン	0 トン	0 トン	2.7 トン	0 トン	0 %	100 %	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	—	%	%	

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする）

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）

⑤泥土（浚渫土）・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

※ 建設発生木材の中には、伐間除根材及び剪定材を含む。

※ 建設汚泥、建設発生木材の、「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。

※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。

※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。

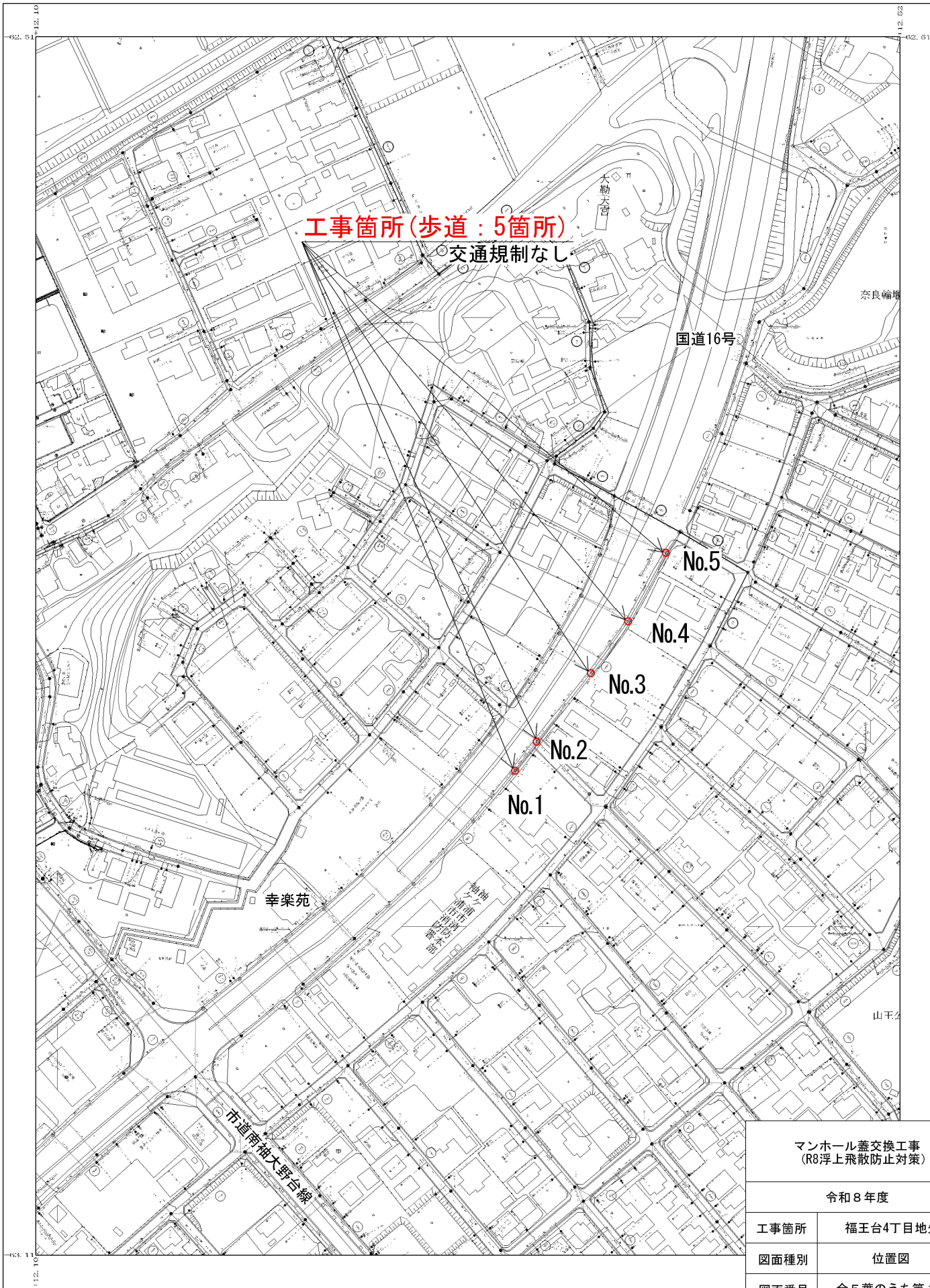
施工条件の明示

マンホール蓋交換工事（R8 浮上飛散防止対策）

明示項目	明 示 事 項
工程関係	1 工事着手前に地下埋設物等について調査し、監督職員に報告すること。
	また調査の結果、地下埋設物等が確認された際には、当該地下埋設物の管理者等と現
	地立会いの上、当該物件の占用位置について確認し、保安対策等について十分打合せを
	行い、事故の発生を防止すること。
	なお、保安対策についての打合せ結果については、立会者に押印を求め、工事打合簿
	にて打合せ内容について提出するものとする。
	2 地下埋設物件等が工事に支障がある場合は、施工方法、工程等について別途発注者、
	受注者の両方で協議する。
	3 本工事は、国道 16 号歩道内が主な施工場所であることから、歩行者の安全確保を考
	慮した工事工程により、工期限内に完了すること。
用地関係	4 本工事の工期は雨天、休祭日及び作業期間内の全土曜日を見込み、契約の翌日から令
	和 9 年 1 月 12 日までとする。
公害対策関係	また、やむを得ず休日等に作業を行う必要がある場合は、監督職員に届出るものとする。
	1 資材置き場については、歩行者等への安全を考慮し、バリケード内部に配置すること。
	1 工事の施工に際して使用する建設機械については、全て低騒音、低振動型建設機械指
	定容量に基づき指定された建設機械を使用するものとする。
	2 本工事の施工については、通常の施工法によるものとするが万一公害が生じたり、生
安全対策関係	じるおそれのある場合には、別途協議する。
	ただし、受注者の施工上の欠陥による場合はこの限りでない。
	3 工事現場周辺に、掘削残土・砕石及びA S 塊等が飛散した場合は請負者にて速やかに
	清掃すること。
	1 工事区域内に児童等が侵入しないよう、バリケード・保安灯を設置し、更に工事車両
	の出入り口には、誘導員を配置し事故が発生しないよう注意すること。
	2 人孔内へ立ち入る際には、必ずガス検知器等で人孔内の安全を確認すること。
	3 本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として
	作業員全員の参加により月当り半日以上の時間を割当て、下記項目から実施内容を選択
	し安全・訓練を実施するものとする。
工事用道路関係	① 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育。
	② 工事内容等の周知徹底。
	③ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底。
	④ 本工事における災害対策訓練。
	⑤ 本工事現場で予想される事故対策。
	⑥ その他、安全・訓練等として必要な事項。
	4 工事期間中は夜間及び作業休止日における安全確保のため、保安要員を巡回させ、保
	安灯、バリケード及び工事仮設物等の保安点検を行うものとする。
	1 運搬路に使用した既設道路の補修が必要となった場合は、補修しなければならない。
	なお、補修方法及び費用について監督職員と協議するものとする。

残土・廃棄物関係	1	路盤廃材は指定処分にて処分し、工事完了後証拠伝票を監督職員に提示するものとする。（マニフェストD、E票写）
		分別解体・再資源化等及び再生資源活用の対象となる建設工事は、下記の要領に基づき実施するものとする。
	a．	再生資材の利用
		請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。
		再生加熱アスファルト混合物 細粒度 13 mm
		再生加熱アスファルト混合物 密粒度 13 mm
		再生加熱アスファルト混合物 粗粒度 20 mm
		再生クラッシャーラン R C-40
		再生粒度調整碎石 R M-40
		なお、使用に際し「プラント再生舗装技術指針」等を遵守するものとする。
	b．	建設発生土の利用
	c．	指定副産物の搬出
	d．	特定建設資材の分別解体等・再資源化等
		本工事は、建設工事に係わる資材の再資源化に関する法律（平成12年法律第104号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
		なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象にしない。
	e．	その他
		工事発注後に明らかな事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。
排水工(濁水処理含)関係	1	濁水の処理にあたっては、流域・周辺及び路上等の環境保全に留意し、必要な対策を講ずること。

位置図



マンホール蓋交換工事
(R8浮上飛散防止対策)

令和8年度

工事箇所 福王台4丁目地先

図面種別 位置図

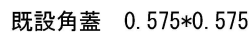
図面番号 全5葉のうち第1号

縮尺 図示

袖ヶ浦市役所下水道課

1 : 2500

0 50 100 150 200 250m

$s = 1/100$ 

No. 2

No. 1

マンホール蓋交換工事
(R8浮上飛散防止対策)

令和8年度

工事箇所	福王台4丁目地先
------	----------

図面種別	平面図・舗装復旧平面図
------	-------------

図面番号 全5葉のうち第2号

縮尺	図示
----	----

袖ヶ浦市役所下水道課

1 : 500



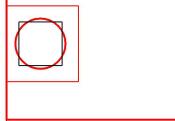
平面図



舗装復旧平面図 s=1/100

歩道

No.5



2.000
一般部

2.250

本復旧 No.4

新設丸蓋 φ666

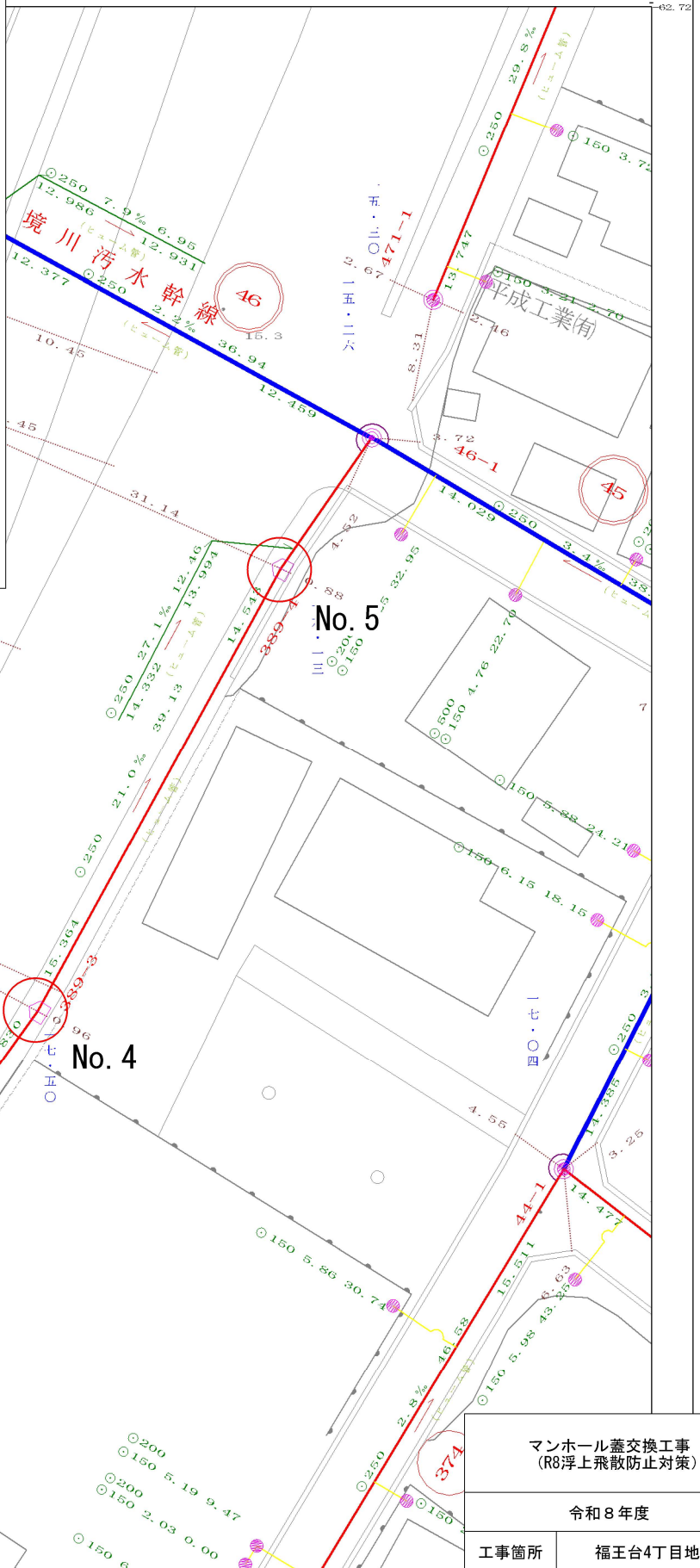


2.000
一般部

既設角蓋 0.575*0.575

掘削ライン 1.000*1.000

2.300



マンホール蓋交換工事
(R8浮上飛散防止対策)

令和8年度

工事箇所 福王台4丁目地先

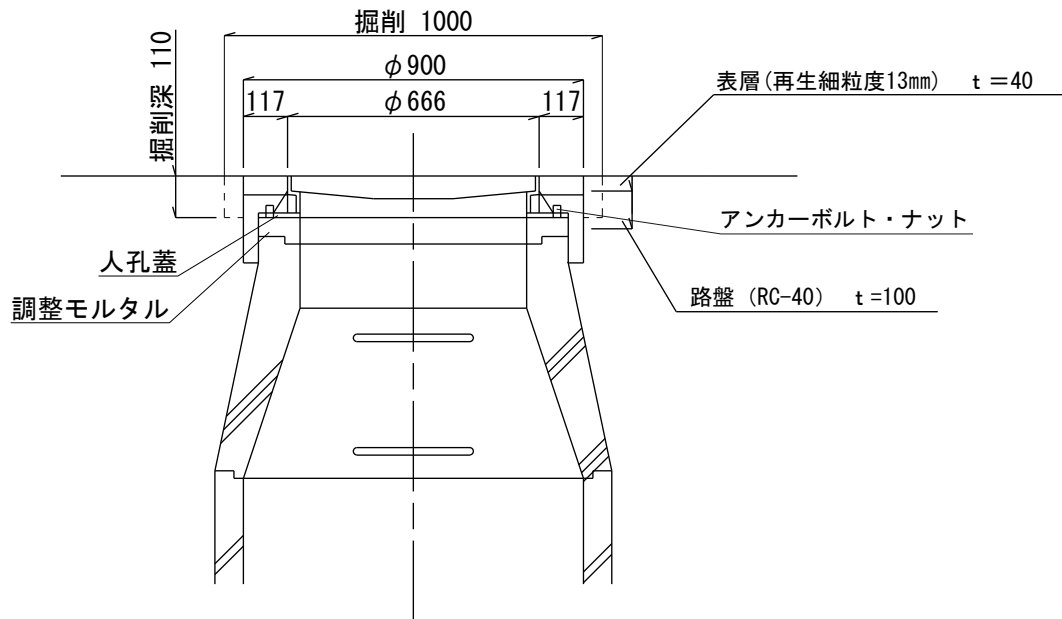
図面種別 平面図・舗装復旧平面図

図面番号 全5葉のうち第3号

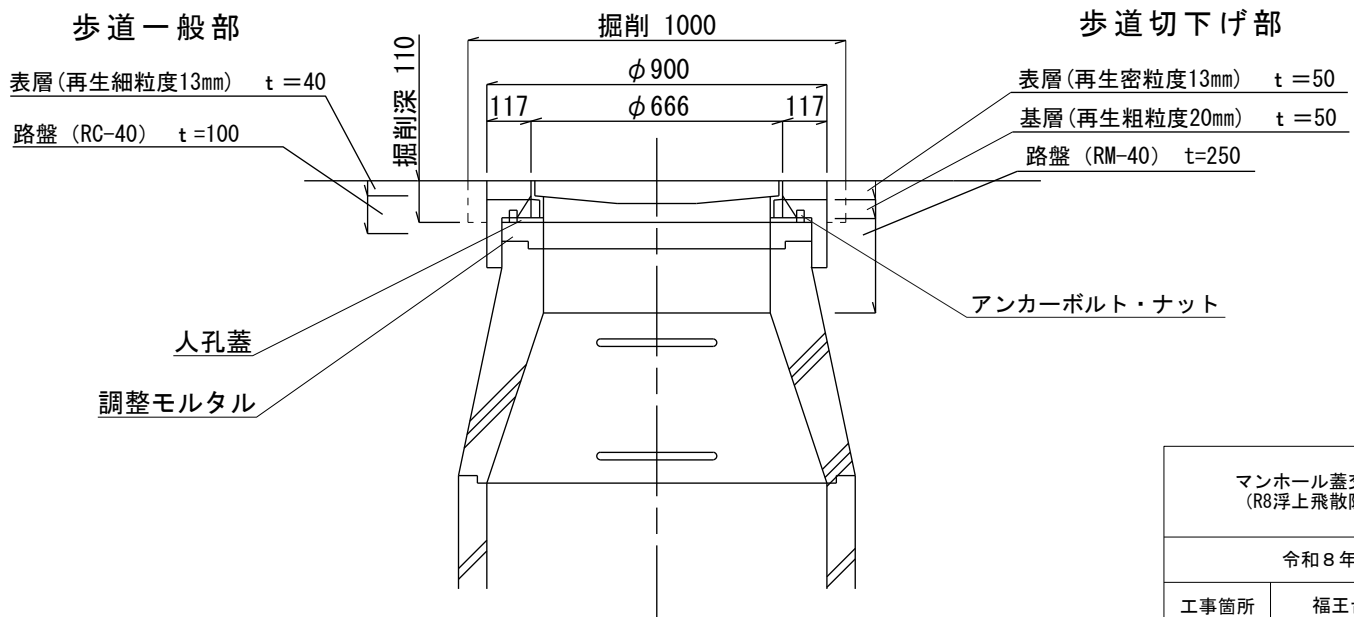
縮尺 図示

袖ヶ浦市役所下水道課

断面図 S=1/20
歩道一般部 : No.2、No.4、No.5



断面図 S=1/20
歩道一般部・切下げ部 : No.1



マンホール蓋交換工事
(R8浮上飛散防止対策)

令和8年度

工事箇所 福王台4丁目地先

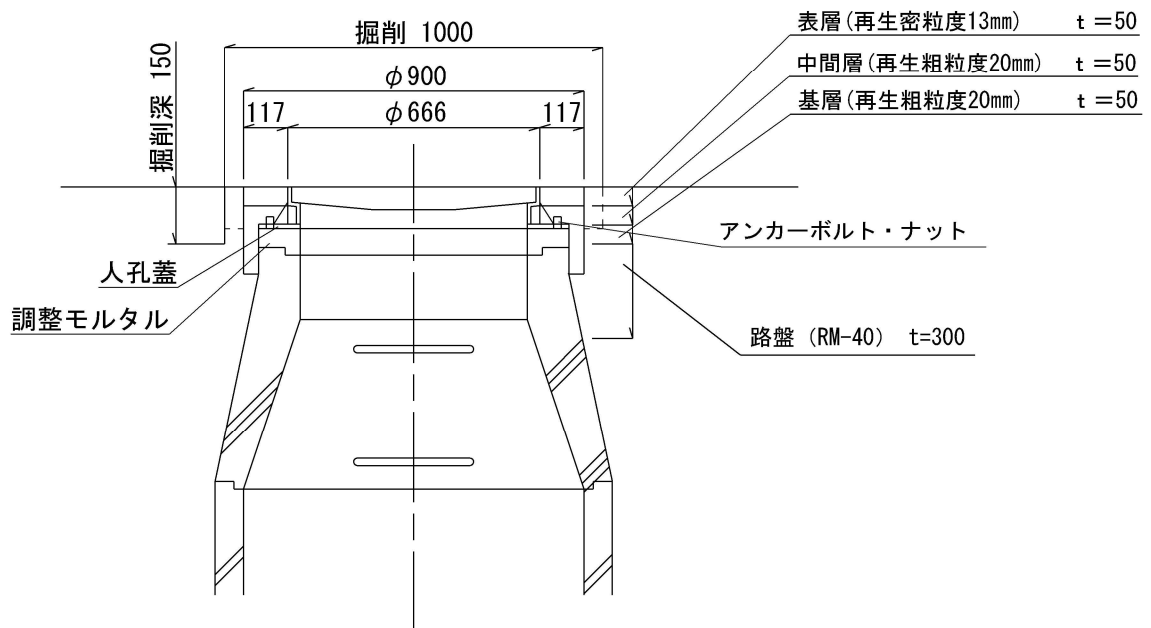
図面種別 断面図

図面番号 全5葉のうち第4号

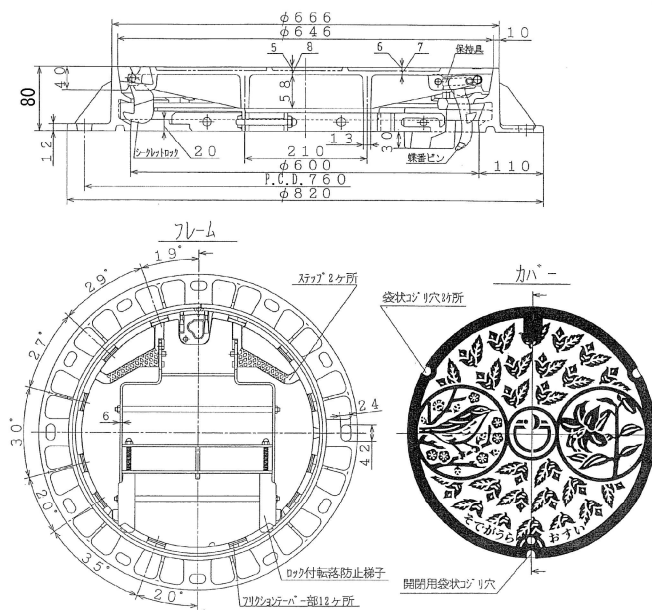
縮尺 図示

袖ヶ浦市役所下水道課

断面図 S=1/20
歩道切下げ部：No.3



構造図 S=Free



マンホール蓋交換工事
(R8浮上飛散防止対策)

令和8年度

工事箇所	福王台4丁目地先
図面種別	断面図・構造図
図面番号	全5葉のうち第5号
縮尺	図示

袖ヶ浦市役所下水道課